

私たちの提案

[めざすまちの姿（将来像）]

浮城に臨む瀬戸のまほろば 西国街道・三原本町

～住みよさ実感・街のにぎわい・未来につづくまち～



本町通り（西国街道）の将来イメージ



宗光寺小路の将来イメージ



阿房坂の将来イメージ

令和2年(2020年)1月

本町西国街道地区魅力あるまちなみづくりワークショップメンバー

目次

はじめに	1
1 ワークショップの開催経過	1
2 私たちの提案	2
(1) 提案の骨子	2
(2) めざすまちの姿と将来イメージ	3
(3) テーマ別のプロジェクトと主な取組	4
① 景観ルールづくり	4
② 施設整備	7
③ 地域資源活用	9
④ 商店街・コミュニティ活性化	10
(4) 全体的な推進体制	11
ワークショップメンバー及びアドバイザー・オブザーバー名簿	12
別紙資料：ワークショップでの意見の整理一覧（プロジェクトと取組及び担い手など）	

はじめに

本町西国街道地区（以下「本町地区」といいます。）において、にぎわいのある街道の再生、地区の魅力や回遊性の向上のために、住民が意見を出し合い、それを提案としてまとめるワークショップを開催していただき、感謝しています。

私たちは2か年にわたる計6回のワークショップを通じ、めざすまちの姿（将来像）を設定し、その具体化のために景観ルールづくり、施設整備、地域資源活用、商店街・コミュニティ活性化の4つのテーマのもとにプロジェクトと取組、推進体制を検討し、それらを「私たちの提案」としてまとめました。

この提案の中には、本町地区の住民・事業者及び地域活動団体等（以下「住民等」といいます。）が主体となって取り組むこと、行政が事業主体となるもの、住民等と行政が協働して取り組むことがあります。また、本町地区の住民等が主体となる取組には、行政の支援が必要なものととも、いずれの取組も住民等と行政の協力・連携が大切であると認識しています。

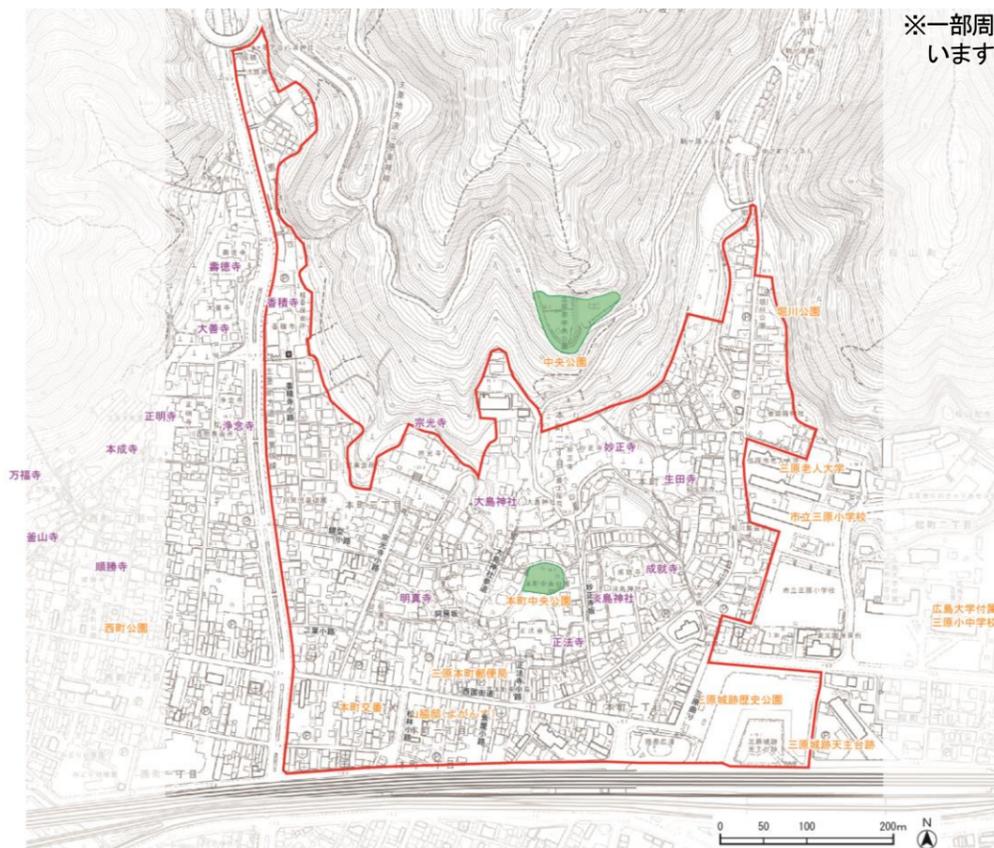
提案の中には、短期的に実現が難しいこと、多くの解決しなければならない課題があるものがありますが、三原市においてこの提案をご検討いただき、行政が事業主体となる取組が計画的に進むことを願うとともに、住民等が主体となった取組（まちづくり）の支援及び協働の取組の推進をお願いするものです。

<「私たちの提案」の構成>

「私たちの提案」はこの資料と別紙資料とで構成しています。

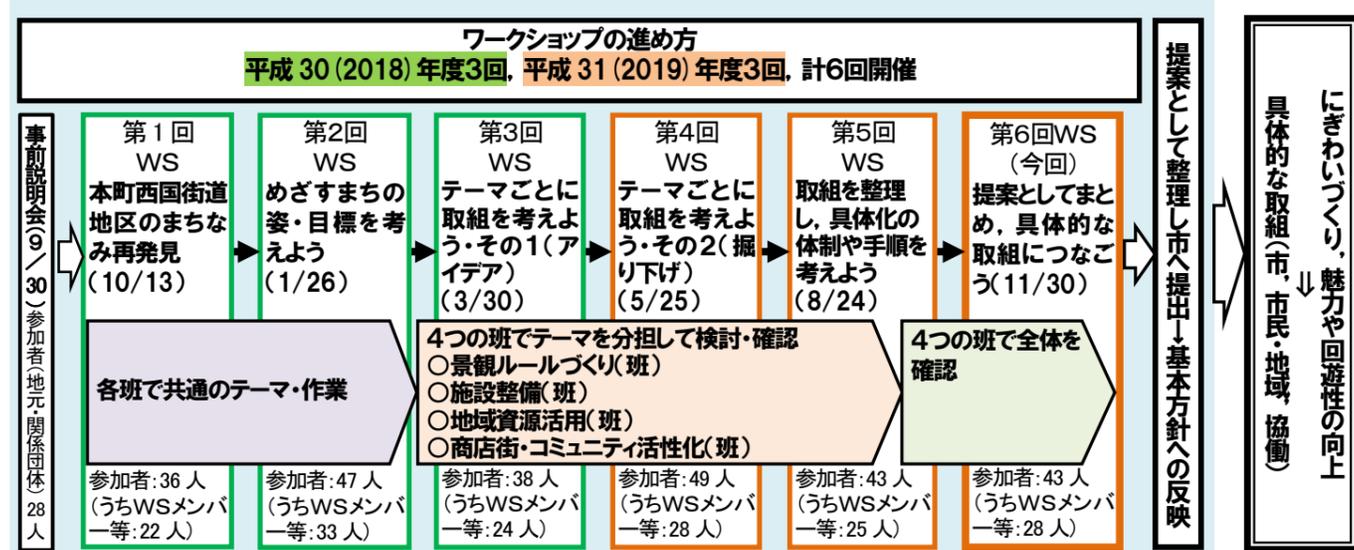
別紙資料は計6回のワークショップでの意見（取組アイデアのすべて）をプロジェクトごとに、かつ、担い手・支援者等や4つのテーマとの関係で整理し、一覧としてまとめています。

【対象区域（赤のライン内）】



※一部周辺を含めて検討しています（中央公園など）。

1 ワークショップの開催経過



■第1回：3つのコースに分かれてまちを歩き、その後、特色・魅力、問題点などを出し合いました。



■第2回：4つの班に分かれ、めざすまちの姿（将来像）・目標、必要な取組について話し合いました。



■第3回：テーマ別の4つの班（以下同様）で、めざすまちの姿（共通）、テーマごとの目標や取組などを話し合いました。



■第4回：各班の取組を掘り下げ、プロジェクトなどを話し合いました。推進体制の案も出されました。



■第5回：提案のたたき台（将来像や方針、プロジェクト、推進体制など）について話し合いました。



提案の確認作業について発表。途中、天満市長が駆けつけ、感謝と期待、まちづくりへの支援についての話がありました

2 私たちの提案 (1) 提案の骨子(全体構成)～めざすまちの姿(将来像)・目標及びプロジェクトと取組の構成～

本町の現状, 課題及びまちづくりの方向性

本町の現状

①人口(国勢調査)
三原市:H12年 106千人
→H27年 96千人(9.4%減)
本町(全体):H12年 1,593人
→H27年 1,270人(20.3%減少)

②高齢化率(国勢調査)
三原市の人口に占める65歳以上の割合:H27年 32.7%
本町の人口に占める65歳以上の割合:H27年 41%

③歴史的建築物等の状況(県立広島大学吉田研究室調査)
戦前に建てられた歴史的建築物が276件, 工作物・環境物件が64件

④空き家の状況
三原地域の空き家率:9.4%
本町(全体)の空き家率:14.0%

本町の課題

- 人口減少・高齢化に伴うコミュニティの弱体化への対応
 - ・市全体と比較して急速に人口減少, 高齢化が進行している。
 - ・担い手の減少や高齢化によりコミュニティの弱体化が懸念される。
- まちの空洞化による魅力の低下と環境の悪化への対応
 - ・空き家や空き地, 空き店舗が増加して, まちの魅力とにぎわいが低下している。
 - ・住環境の悪化や活力の低下が懸念される。
- 多彩な地域資源の活用
 - ・数多くの歴史的建築物や環境物件の活用が期待される。
 - ・伝統行事や生活文化の継承・活用などが期待される。

まちづくりの方向性

城下町の歴史文化や三原駅・三原内港に近接した交通利便性など本町の強みを活かし, 住環境の改善と魅力の向上に取り組むことで, 定住促進とにぎわいの再生を目指す。

めざすまちの姿(将来像)

浮城に臨む瀬戸のまほろば
西国街道・三原本町

～住みよさ実感・街のにぎわい・未来につづくまち～

本町地区の歴史文化や新たに創出される特色など有形, 無形の資源を活かして地区の魅力を上しながら, 歴史的街並みと調和した快適な歩行環境などを整備することで『歩いて暮らせるにぎわいあるまち, そして温もりにあふれ住みよさを実感できるまち』をめざします。

※まほろば
素晴らしい場所, 住みやすい場所という意味の日本の古語。古事記に「真秀ろば」のある歌があります。
素晴らしい場所には「にぎわい」や「魅力」などを含みます。

※まちなみ
建物や道路をはじめとした物的な環境・景観(街並み)とともに, そこで営まれている暮らしや産業(人々の営み・活動)を含めて捉えます。

※街並み
建物や道路をはじめとした物的な環境・景観に限定する場合, 「街並み」と表現します。

景観ルールづくり(班)
【景観づくりの目標】
本町らしさを感じる街並みを守り・創り・引き継ごう
～様々な建物などが共存・調和する魅力づくり～

施設整備(班)
【施設整備の目標】
まちなみを支える施設を, 地域と行政が連携してつくろう

地域資源活用(班)
【地域資源活用の目標】
“本町の歴史, 生活文化の再発見と発信”
多彩な資源を活かし, 人の集うまちをつくろう

商店街・コミュニティ活性化(班)
【商店街・コミュニティ活性化の目標】
人とまちが元気で, 笑顔あふれる本町をつくろう

【テーマ班の目標】

プロジェクト		テーマ(班)との関係網: 特に関係が強い取組			
プロジェクト(大分類)	取組の主要事項(中分類)	景観	施設	資源	活性化
1 街並み景観づくり プロジェクト	景観ルールづくり				○
	管理・普及				○
	相談・支援			○	○
	景観整備			○	○
2 施設整備・魅力づくり プロジェクト	眺望景観		○	○	○
	本町通り(西国街道)再整備			○	○
	小路・参道魅力づくり・ネットワーク			○	○
	公園・広場魅力化			○	○
3 寺社活用・歴史文化体験 プロジェクト	案内・交流・サイン整備			○	○
	寺社活用		○		○
	歴史文化の記録・発見・活用		○		○
4 本町まるごと体験・発信 プロジェクト	四季の行事				○
	生活文化体験・発信				○
	※特に寺社活用・歴史文化体験プロジェクトと連携		○		○
5 町家&空き家・空き地活用 プロジェクト	本町周遊				○
	本町情報発信	○			○
6 観光・交流と商店街活性化 プロジェクト	町家活用	○			
	空き家・空き地活用	○		○	
7 安全・安心と健康のまちづくり プロジェクト	観光・交流	○	○	○	
	商店街活性化			○	
	安全・安心		○		
安全・安心と健康のまちづくり プロジェクト	健康づくり		○		
	環境美化	○	○	○	

全体的な推進体制(担い手・体制づくり, 交流・連携)
交流・連携: 交流・連携の仕組みと場・機会の確保・充実
担い手・体制づくり: まちづくり推進の担い手・組織づくり

めざすまちの姿 (将来像)

浮城に臨む瀬戸のまほろば

西国街道・三原本町

～住みよさ実感・街のにぎわい・未来につづくまち～

本町地区の歴史文化や新たに創出される特色など有形、無形の資源を活かして地区の魅力を上しながら、歴史的街並みと調和した快適な歩行環境などを整備することで『歩いて暮らせるにぎわいあるまち、そして温もりにあられ住みよさを実感できるまち』をめざします。

※まほろば

素晴らしい場所、住みやすい場所という意味の日本の古語。古事記に「真秀ろば」のある歌があります。素晴らしい場所には「にぎわい」や「魅力」などを含みます。

将来イメージ② 宗光寺小路

本町通りから宗光寺小路に入ると、宗光寺の山門がアイストップ (目印) になり、その印象・雰囲気と調和するよう参道沿いの建築物や敷地の修景、道路の美装化などを行った場合を想定しています。道路は本町通りと連続するデザイン (本町通りと同様) とし、無電柱化を想定しています。

イメージスケッチの説明

- 宗光寺の山門を目印にしています。
- 格子や塀など歴史的な意匠を有する建築物を継承しています。
- 比較的新しい建築物等は、歴史的な街並みと調和するよう、外観を一部修景しています。
- 一部の塀を歴史的な雰囲気にしています。
- 市道の美装化をイメージしています。
 - ・本町通り連続した形
- 照明灯はやや低いポール型としています。
- 街並みと調和する水路のフタ掛けを行っています。
- 街並みと調和したサインを設置しています。



将来イメージ① 本町通り (西国街道)

歴史的建築物は本町通りを特徴づける資源として大切にしながら、その印象・雰囲気と調和するよう周辺の建築物や敷地の修景、道路の美装化などを行った場合を想定しています。

電柱がなかったら、どんなイメージになるかを示すため、無電柱化でスケッチを作成しています。歩行者の安全確保や建物の保全 (車による軒の破損などから守る) については、ここでは照明灯で対応することを考えています。

イメージスケッチの説明

- 個々の建築物は通りのイメージがより表現できるように、実際の位置とは異なる形で配置し組み合わせています。
- 歴史的建築物を継承し、街並みを特徴づける存在として活かしています。
- 周辺の建築物は、近くにある歴史的建築物と調和するよう、外観を一部修景しています。
- 本町通りの美装化をイメージしています。
 - ・中央部の舗装は平面で耐久性のある素材・工法とし、路面の凹凸などを改善
 - ・歩行者優先の空間の確保 (歩きやすい舗装)
 - ・路面への埋込サインの設置など
- 照明灯を集約・再整備して街並みと調和する、雰囲気を高めるデザインとしています。
- 街並みと調和する水路のフタ掛けを行っています。
- 街並みと調和したサインを設置しています。



将来イメージ③ 阿房坂

阿房坂を取り上げ、沿道の石垣や塀など風情のある佇まいを継承・活用することを基本としています。道路については、阿房坂の印象・雰囲気と調和するよう改修・美装化を行うこと、傾斜のある区間などでは歩行支援や安全確保のために手すりや足元灯を設置すること、雨水排水路を暗渠化し、道路の有効幅員を広げることを想定しています。

イメージスケッチの説明

- 現在の石垣や塀を継承しています
- 路面の美装化をイメージしています。
 - ・滑りにくい路面の仕上げ (中央部は現状を踏まえて補修・再整備)
 - ・風情を醸し出す路面の素材・色
- 暗渠 (スリット側溝) にしています。
- 道の幅員や色に配慮しながら、石垣側に手すりを設置しています。
- 夜間、照明の光が近隣の迷惑とならないよう配慮し、低い足元灯を設置しています。
- 街並みと調和した案内板等 (サイン) を、路面に埋め込んでいます。



景観ルールづくりの提案

【景観づくりの目標】

本町らしさを感じる街並みを守り・創り・引き継ごう～様々な建物などが共存・調和する魅力づくり～

【景観づくりの方針】

- 桃山時代から近・現代の歴史的な建物を残しつつ、景観を守り、高めよう
- 外観が変えられている歴史的な建物を、できるだけ当初の雰囲気に甦らせよう
- 新築や増改築などのときには、歴史的な建物・街並みとの調和に努めよう
- 斜面地を有する特徴を活かし、特徴的な眺望景観を確保しよう
- 本町の街並みや歴史的な建物、三原城跡、眺望景観を活かそう

1 街並み景観づくりプロジェクト

■ 景観ルールづくり

＜主な取組＞

- ゆるやかなルール「街並みガイドライン」の作成とブラッシュアップ
⇒ ルール案は次頁(ガイドライン案)、次々頁(検討図)を参照
- 景観づくりの軸となる区域などで「街づくり協定」の検討

■ 景観ルールの管理・普及

＜主な取組＞

- 「街並みガイドライン」の管理・普及

■ 街並みづくりの相談・支援

＜主な取組＞

- 相談体制
- 既存制度の活用 ⇒ 街なみ環境整備事業(下記)などの検討

■ 眺望景観

＜主な取組＞

- 眺望景観の確保に向けた樹木の伐採

■ 景観整備

＜主な取組＞

- 景観づくりの軸となる区域などで先導的な景観整備

景観形成のイメージ(増改築、建替え・新築等)のとき

・歴史的建築物の保存(維持管理)
・準歴史的建築物の修繕の検討
＜一般建築物、改変された歴史的建築物＞
・屋根や外壁の色は落ち着いた色彩 等々
＜共通＞
・空調などの屋外設備の修景(共通)
・屋外広告物への配慮 等々

屋上にあった看板は建物の壁面に移設

新築の場合はできるだけ勾配屋根にし、勾配は近くの歴史的建築物と調和させましょう
※本町通りでは都市計画道路による建築制限があります

・外壁の色は無彩色や落ち着いた色彩に
・外壁・開口部を格子などで修景

駐車場の修景: 街並みの壁面などと合わせた柵や植栽などの配置…交通安全(視界の確保)に留意

敷地前面(駐車場を含む)の修景

既設のブロック塀の耐震化と修景

【街なみ環境整備促進区域】
面積1ha以上かつ、①～③のいずれかの要件に該当する区域
① 接道不良住宅率70%以上かつ、住宅密度30戸/ha以上
② 区域内の幅員6m以上の道路の延長が区域内の道路総延長の1/4未満であり、かつ、公園、広場及び緑地の面積の合計が区域の面積の3%未満である区域
③ 景観法による景観計画区域又は景観地区の一部又は全部を含む区域、歴史的風致維持向上計画の重点区域の一部又は全部を含む区域及び条例等により景観形成を図るべきこととされている区域
*接道不良住宅とは、幅員4m以上の道路に接していない住宅をいう

【街なみ環境整備事業地区】
街なみ環境整備促進区域において、地区面積0.2ha以上かつ、区域内土地所有者等による「街づくり協定」が締結されている地区

街なみ景観整備の助成

住宅等の修景
(外観の修景の整備)

景観重要建造物、歴史的風致形成建造物の活用
(修理、移設、買取等)

(交付率: 1/2, 1/3)

高辺と調和した建物の修景

道路植栽

既存の建物を活用した集会所

生垣の整備

道路・歩道の美化

協議会の活動の助成

協議会の活動の助成
勉強会、見学会、資料収集等 (交付率: 1/2)

空家住宅等の除却

空家住宅等の除却
(交付率: 1/2)

地区内の公共施設の整備

道路・公園等の整備

生活環境施設の整備
(集会所、地区の景観形成のため設置する非営利的施設等)

公共施設の修景
(道路の美化、街路灯整備等)

電線地中化

(交付率: 1/2)

■ 歴史的建築物(概ね往時の姿)
歴史的な建築物(町家、住宅、寺社、医院、旧銀行、事務所、和風や洋風建築など)
・概ね昭和30年以前に建てられた建築物で、建築当時の外観を全体的に残しているもの(歴史的な雰囲気が色濃く残されている建築物)
※町家: 町に建つ商家及び職人の住まいの総称



■ 準歴史的建築物
(外観が改変されている歴史的建築物)
・概ね昭和30年以前に建てられた建築物で、外観が看板等で大きく改変されているが、往時又はそれに近い外観の再現が可能と思われるもの
⇒ 往時の姿またはそれに近い形で修繕された場合は「歴史的建築物」



■ 一般建築物
・概ね昭和30年より後に建てられた建築物
・今後、新築、増築される建築物など(上記以外)



○ 外構
・建築物の敷地のうち、通り・道路に面して建築物と一体的に外観を構成する部分を対象

○ 付属物
・屋外広告物(看板等)
・設備(空調、自動販売機等)、その修景
・街並みの演出(建築物と一体的な演出物)

○ 駐車場・空き地 など



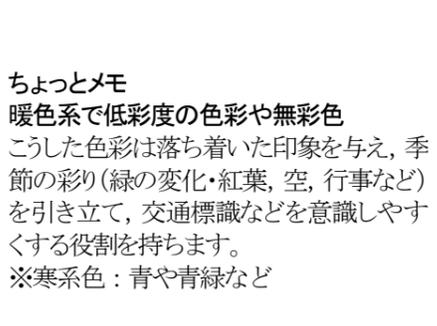
修景の事例 (広島県府中市出口地区)
※県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 吉田倫子先生作成



街なみ環境整備事業が終了後も、協定はそのまま修景基準を守っています。

街並みガイドライン案～修繕, 増改築, 建替え・新築等を行う場合に考慮するルール・方法～

ガイドライン（指針, 誘導目標, 守ることが望ましい規範など）…『ゆるやかなルール』として, 景観づくりに活かしましょう

項目	景観づくりの軸となる区域（通りなど）⇒次頁の図を参照（右記も同様）	その他の区域	参考（写真など）	
建築物	全般	○建替え・新築においては, 低層(1・2階)または中層(3～5階)建築物とするよう努めましょう。 ○主要な眺望点(妙正寺, 大島神社, 中央公園)から三原城跡(天主台跡と石垣)を眺望できるよう, 建替え・新築においては留意しましょう。 ※マンションの建設を抑制する方策の検討(※は今後の検討課題:以下同様)	○幅員4m未満の道路が中心の斜面市街地では, 新築・建替えにおいて, 低層または3階程度までの建築物とするよう努めましょう。 ○上記以外の区域(JR側, 県道三原東城線沿いなど)では, 建替え・新築において, 低層または中層建築物とするよう努めましょう。 ○主要な眺望点から三原城跡(天主台跡と石垣), 及び瀬戸の島々や山並みなどを望む景観の確保に留意しましょう。	 <p style="font-size: small;">妙正寺付近などからは, 天主台跡の石垣を望むことができます</p>  <p style="font-size: small;">本町の建築物(外壁, 屋根など)の色彩は, 無彩色や暖色系が中心となっています</p>  <p style="font-size: small;">4寸勾配程度の屋根で平入り(手前の2棟)。格子や漆喰壁, 板塀, 和風仕様の玄関扉。屋根の勾配が揃えば統一感が高まります</p>  <p style="font-size: small;">参考事例: ガスボンベの目隠し(竹原市)</p>  <p style="font-size: small;">参考事例: のれん, 長いす, 花などによる「もてなし空間」づくり(庄原市東城)</p>
	高さ			
	色彩(色)	<p><屋根(屋根色)></p> <ul style="list-style-type: none"> ○無彩色(白・灰色・黒)または落ち着いた色彩を基調としましょう。 <p><外壁・開口部・玄関></p> <ul style="list-style-type: none"> ○無彩色または落ち着いた色彩を基調としましょう(基調色:面積の1/5以上, 補助色:1/5未満)。ただし, 神社など伝統的に用いられてきた色彩は除きます。 ○その際, 強調色(ごく一部, 小面積で使用することにより, アクセントを与える色彩)を取り入れることもあり得ます。 <p>※推奨する色彩・材料, 及び使用しないほしい色彩の提示の検討(色の3つの尺度…色相:色合いの違い, 明度:明るさの度合い, 彩度:鮮やかさの度合い)</p>	○新築・建替え等においては, 原則, 勾配屋根とし, 勾配は近くにある歴史的建築物などとの調和に努めましょう。	
	屋根	○新築・建替え等においては, 原則, 勾配屋根とし, 勾配は近くにある歴史的建築物などとの調和に努めましょう。 ○本町通りなどでは, 平入りの建築物が多く見られます。⇒原則, 平入りで検討	○新築・建替え等においては, 原則, 勾配屋根としましょう。	
	外壁	○往時の形態・意匠を有する歴史的建築物では, その維持(必要に応じて修繕)に努めましょう。 ○準歴史的建築物(外観が改変)では, 可能な場合は建築基準法(準防火性能など)に留意し(他も同様), 歴史的な形態・意匠の再現など当初の雰囲気近づけましょう。 ○一般建築物は, 近隣の歴史的建築物の形態・意匠, 色彩との調和に努めましょう。	(上記の色彩を基本に景観づくりに取り組みましょう。)	
開口部 玄関	○格子などの歴史的な形態・意匠については, 現状の維持(必要に応じて修繕)に努めましょう。 ○準歴史的建築物(外観が改変)及び一般建築物においては, 可能な場合は歴史的な形態・意匠を取り入れましょう。	(上記の色彩を基本に景観づくりに取り組みましょう。)		
外構	塀・門等	○塀・門・柵を設ける場合は, 和風を基調としたもの, または街並みと調和するもの・高めるものにしましょう。 ○塀については, コンクリートブロックでは新設・再整備しない, またはコンクリートブロックを用いる場合はその部分を低くするなど, 防災性を考慮して整備しましょう。 ○コンクリートブロックを用いる場合(低い)は, 街並みと調和するような仕上げにしましょう。 ○敷地内等に駐車場を設ける場合には, 街並みとの調和に配慮しましょう。	(必要に応じて, 左記に準じて取り組みましょう。)	
駐車場(建築物と同一敷地を除く)	○安全面(視界・視線の確保など)を考慮しながら, 駐車場の修景(舗装, 囲いなどの工夫)に努めましょう。	(必要に応じて, 左記に準じて取り組みましょう。)		
付属物等	屋外広告物	○屋外広告物は, 原則, 自己用のもの, または本町地区に関係する店舗等のものに限りましょう。 ○屋外広告物は屋根(庇は除く)より上または屋上への設置・掲出は, 原則, 避けましょう。 ※JR(列車)からの視覚(視認性:見たときの確認のしやすさ)の確保や印象づけに関する屋外広告物のあり方(設置の位置, 大きさ, デザイン)については, 街並みとの調和などを含め, 今後検討することとします。 ○屋外広告物を新たに設置する, または更新する場合は, 街並みや周辺の景観と調和するよう, 材料, デザイン, 色彩, 大きさに配慮しましょう。 ○看板・サイン(屋外広告物)の楽しいまち, 工夫されたまちをめざし, 街並みなどを紹介する魅力ある案内板・説明板, 子どもを含めだれにでも分かる看板, スッキリした看板の整備, 及び統一感のある看板・のれんづくり(それぞれの特色づくりは推奨)などに取り組みましょう。→検討事項: 良い例を示すこと…インスタ映えする看板, 昭和風のデザイン, 切り文字の看板(浮かぶ文字), ユニバーサルデザインの導入など ○その他, 広島県屋外広告物条例に基づいて対応しましょう。		
設備等の修景	○道路に面するなど外部から見える部分では, 空調設備やメータボックス等の配置や色彩の工夫, 格子による目隠しなどに努めましょう。 ○雨樋, その他付属物は, 建築物や街並みと調和する色彩を基調とするとともに, 素材についても検討しましょう。 ○自動販売機等の修景(街並みと調和する色彩, 目隠し等)に努めましょう。 ○街並みと調和するよう, 郵便受けなどの材料, デザイン(色彩も)などを工夫しましょう。	(必要に応じて, 左記に準じて取り組みましょう。) ○壁面や庇などに取り付けられている空調設備は, 安全対策(落下防止)にも留意しましょう。(左記も同様)		
その他, 街並みの演出(修景)	○それぞれの通りなどの状況に応じて, 関係者が協力・連携しながら, 建物・敷地の前面の演出(修景:花, 彫刻, のれん, いす, その他修景物の設置など)を工夫しましょう。 ○眺望景観の確保に向けた樹木の伐採・枝打ち(必要に応じて市の支援), 清掃美化活動などに取り組みましょう。 ○地域の理解と協力のもとに, 街並みの雰囲気を高める修景物などの設置(常設または期間・時間限定)を検討しましょう。	○阿房坂, 妙正寺坂など主要な小路とその沿道(敷地など)において, 地域ぐるみで修景・美化に取り組みましょう。 ○妙正寺坂は中央公園まで延伸してサクラロード(さくら坂)に!		



「街並みガイドライン」の管理・普及(担い手・体制), 行政等の支援

■街並みガイドライン検討図（景観づくりの軸となる区域や眺望点など）

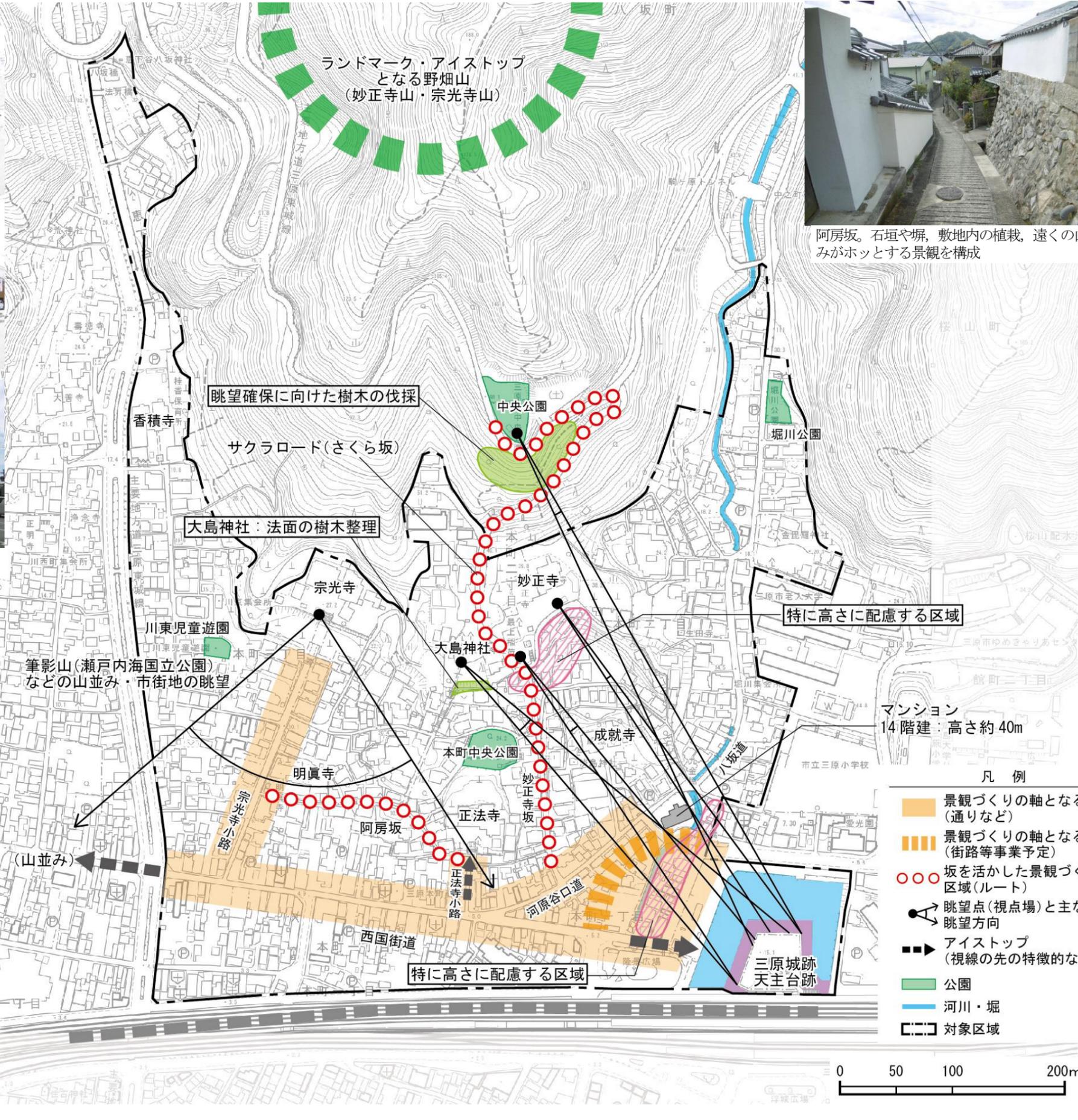
＜歴史的建築物（一部）＞



（洋風の建築物）



＜ファサード(正面)の修景の例＞



阿房坂。石垣や塀、敷地内の植栽、遠くの山並みがホッとさせる景観を構成



妙正寺坂。さらに進むと中央公園につながる。サクラロードの拡充など修景が期待される



宗光寺の境内から南（筆影山など）を見る



三原城跡(天主台跡)から北西(斜面市街地と背後の山など)を見る



三原城跡(天主台跡)から西(西国街道など)を見る

施設整備の提案

【施設整備の目標】

まちなみを支える施設を、地域と行政が連携してつこう

【施設整備の方針】

- 安全・快適で、歩いて楽しい本町通り（西国街道）の再整備に取り組もう “本町通り(西国街道)再整備”
- 城下町の風情を伝える小路・参道などの魅力づくりとネットワーク化に取り組もう “小路・参道魅力づくり・ネットワーク”
- 誰もが笑顔で出会う、魅力ある公園・広場をつくり、活かそう “公園・広場魅力化”
- 案内・交流する場、まちを知るサインなどを整備・充実させよう “案内・交流・サイン整備”
- 防災安全性を高める施設整備などに取り組もう “防災安全”

■宗光寺小路の整備イメージ



- 本町通りと連続した整備
- 街灯は円柱型(高さは2m程度)を想定

2 施設整備・魅力づくりプロジェクト

■本町通り（西国街道）再整備

＜主な取組＞

- 交通規制の検討☆☆
- 道路の構成・美装化☆☆
- 電柱・照明灯の集約・再整備、無電柱化
- 都市計画道路本町古浜線の整備→歴史公園付近の本町通りは公園と一体的な整備(歩道整備, 美装化など)

☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS
 ★:「優先的、早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS

■小路・参道魅力づくり・ネットワーク

＜主な取組＞

- 整備をめざす小路・ルートの設定★
- 道路の美装化, 歩行環境の整備☆☆
- 狭あいな道路の改善

■公園・広場魅力化

＜主な取組＞

- 公園・広場の再整備(魅力づくり, 有効活用)★
- 小広場(ポケットパーク)の新たな確保・整備
- 防災を意識した公園・広場の整備・活用(防災訓練, 炊き出しイベント等)★

■案内・交流・サイン整備

＜主な取組＞

- サイン(案内板, 文化財やその他資源などの説明板, 誘導標識, 埋込型等の名称表示板, 注意札)の整備(外国語併記の検討)☆☆
- 観光案内や交流, 休憩の場の確保・整備☆☆
- (公衆)トイレの再整備や新設★

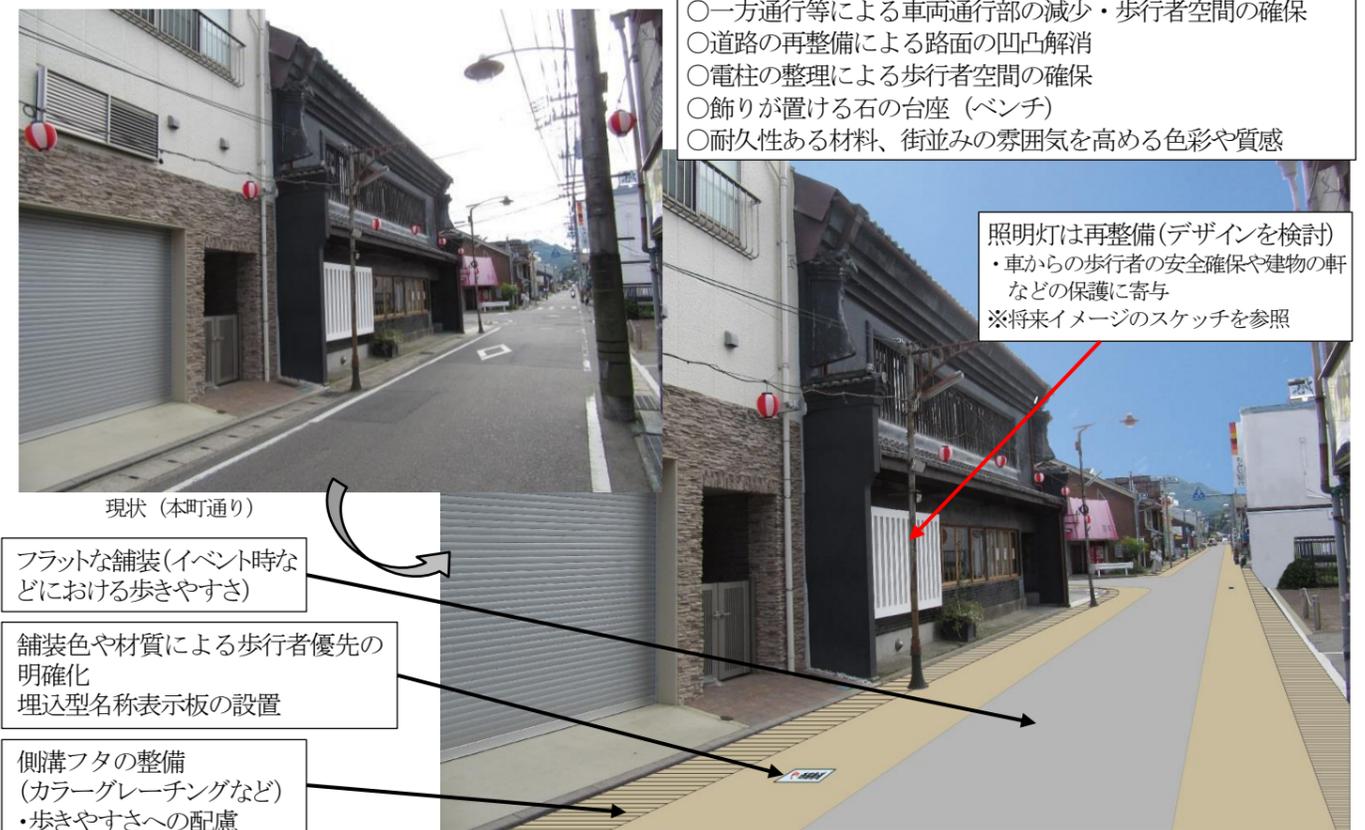


施設整備班のワークショップ風景



かまどベンチ…災害時に煮炊き(広島市)

■本町通りの整備イメージ



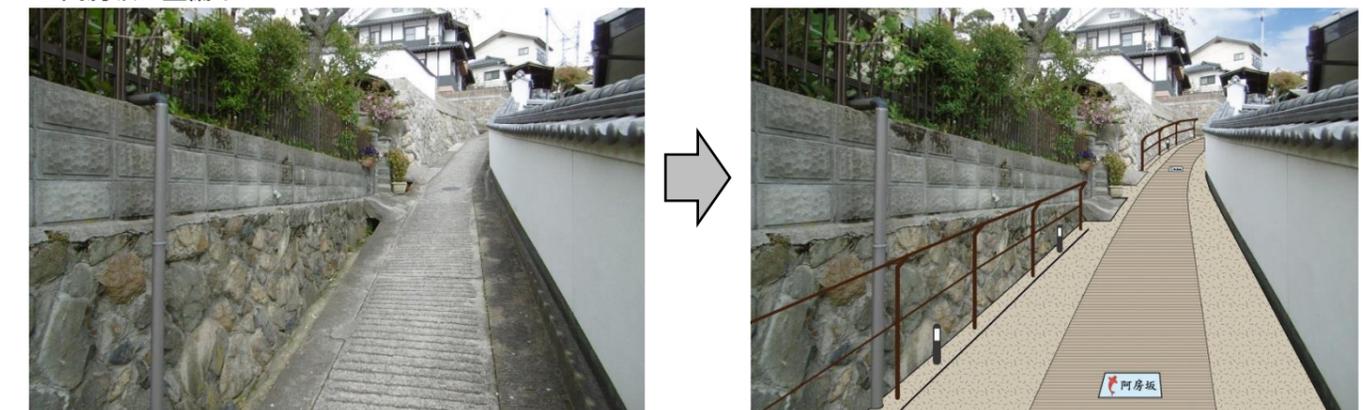
- 現状(本町通り)
- フラットな舗装(イベント時などにおける歩きやすさ)
- 舗装色や材質による歩行者優先の明確化
埋込型名称表示板の設置
- 側溝フタの整備(カラーグレーチングなど)
歩きやすさへの配慮

- 一方通行等による車両通行部の減少・歩行者空間の確保
- 道路の再整備による路面の凹凸解消
- 電柱の整理による歩行者空間の確保
- 飾りが置ける石の台座(ベンチ)
- 耐久性ある材料、街並みの雰囲気をも高める色彩や質感

照明灯は再整備(デザインを検討)
 ・車からの歩行者の安全確保や建物の軒などの保護に寄与
 ※将来イメージのスケッチを参照

整備イメージ(美装化等)

■阿房坂の整備イメージ



現状

坂道整備イメージ

参考事例(道路:小路)



水路のフタ掛けと道路の美装化(出雲市)

参考事例(サイン)



三原城跡歴史公園

広島県府中市

山口市

姫路市

■施設整備検討図

- 【公園・広場】
 - どの公園・広場を対象に再整備(魅力づくり、有効活用)を行うか
 - 小広場(ポケットパーク)の新たな確保・整備(空き地の活用など)
 - 防災を意識した公園・広場の整備・活用
- 【案内・交流・サイン】
 - サイン(案内板、説明板、誘導標識、埋込型等の名称表示板、注意札)の整備(設置)
 - 観光案内や交流、休憩の場の確保・整備
- 【その他】
 - 狭い道路の改善
 - まちの防災機能強化
 - (公衆)トイレの再整備や新設
 - AI(人工知能)、VR(仮想現実)などの活用



阿房坂：坂の小路と側溝フタのない水路



妙正寺坂：工事の履歴が表れている舗装，側溝フタ

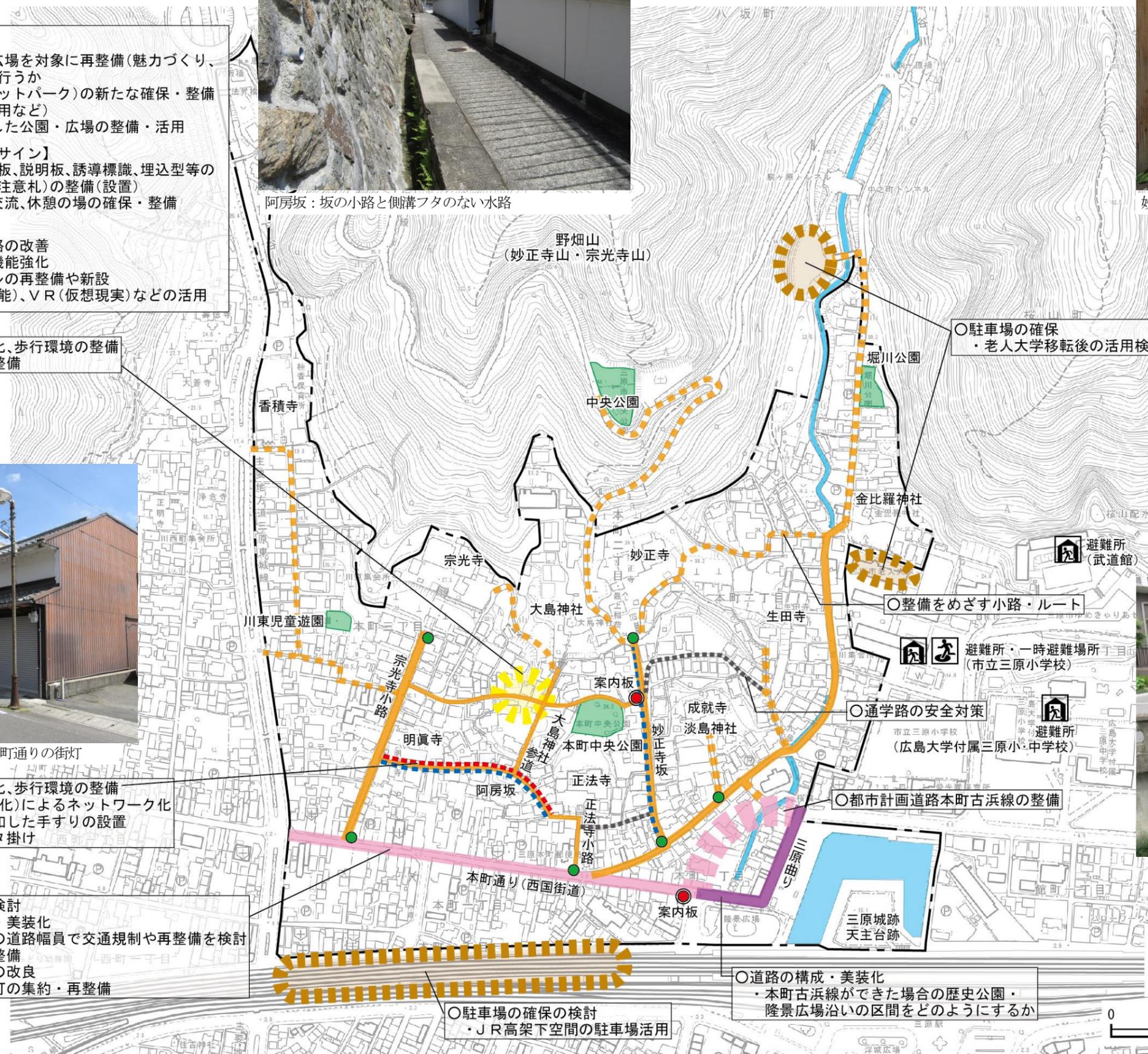
- 道路の美装化、歩行環境の整備・照明灯の整備



老朽化の進む本町通りの街灯

- 道路の美装化、歩行環境の整備
 - ・舗装(美装化)によるネットワーク化
 - ・景観に調和した手すりの設置
 - ・側溝のフタ掛け

- 交通規制の検討
- 道路の構成・美装化
- (当面)現状の道路幅員で交通規制や再整備を検討
- 舗装面の再整備
- 水路のフタの改良
- 電柱・照明灯の集約・再整備



- 駐車場の確保・老人大学移転後の活用検討



一般的なデザインの消火器ボックス(現状)
→街並みと調和するデザインの検討(工夫)

- 整備をめざす小路・ルート

- 通学路の安全対策



桜橋(現状)→都市計画道路の整備の際は欄干などのデザイン、説明板の設置を検討

- 道路の構成・美装化
 - ・本町古浜線ができた場合の歴史公園・隆景広場沿いの区間をどのようにするか

- 駐車場の確保の検討
 - ・JR高架下空間の駐車場活用



地域資源活用の提案

【地域資源活用の目標】

“本町の歴史、生活文化の再発見と発信” 多彩な資源を活かし、人の集うまちをつくろう

【地域資源活用の方針】

- 数多くの寺社を活かし、本町らしさ・特色を高めよう “寺社活用”
- 四季折々の行事、祭などを継承、復活、創出しよう “四季の行事”
- 本町の生活文化（衣食住）を再発見し、発信しよう “生活文化体験・発信”
- 町家・空き家を活用して、本町の魅力や住みよさを高めよう “町家活用”
- 多彩な名所・魅力を活かし、周遊したくなる本町をつくろう “本町周遊”
- 本町の多彩な情報を分かりやすく発信しよう “本町情報発信”

3 寺社活用・歴史文化体験プロジェクト

- ☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS
- ★:「優先的、早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS

■寺社活用

<主な取組>

- 大島神社の鳥居の修繕・整備★
- 寺社の活用・再興
- 寺社をつないだ活用
⇒サインは「2 施設整備・魅力づくりプロジェクト」で検討



大島神社の鳥居と「おひなまつり」



香積寺



宗光寺



妙正寺



明眞寺



正法寺



成就寺

■歴史文化の記録・発見・活用

<主な取組>

- 本町の歴史文化の記録・まとめ
- 本町今昔写真展の開催と写真の収集・整理・活用
- AI（人工知能）、VR（仮想現実）などの活用
- ※「いろは」：郷土史講座（年4回）



参考事例:座禅体験



三原城の絵図
写真展に絵図などの展示も検討

4 本町まるごと体験・発信プロジェクト

■四季の行事

<主な取組>

- 伝統的な祭・行事の継承・復活☆
- 本町まで祭を拡大(やっさ祭り、おひなまつり)
- 年中行事・イベントの案内表・カレンダーの作成
- 新たなイベントの企画・開催(西国街道祭など)
- 大学と連携したイベントの充実
- 担い手の確保・育成、参加・交流促進★



やっさ祭り。踊りを本町通りへ

■生活文化体験・発信

<主な取組>

- 生活文化の再発見
- 「衣」「食」「住」の体験機会の確保★
- “市”の開催…「食」+α



参考事例:着付けと生花体験

■本町周遊

<主な取組>

- 参道・小路のブラッシュアップ
- 名所・眺望の場の確保・整備
- 周遊コースの設定と活用★
- 西国街道の活用
⇒「2 施設整備・魅力づくりプロジェクト」で検討
- サインの整備 ⇒同上
- ※「いろは」:サンデーウォーク(年2回)



阿房坂



本町のまち探検(本町の案内)



中央公園からの眺望

5 町家&空き家・空き地活用プロジェクト

■町家活用

<主な取組>

- 歴史的建造物(建物など)マップの作成・活用
- 歴史的建造物の保存・活用
- 空き家の再生・活用(下記)★

■空き家・空き地活用

<主な取組>

- 空き家・空き地の把握と対応策の検討★
- 空き家の利用希望者と地元との交流:空き家ツアー(住民も参加)などの開催
- 空き家の改修・除去
- 空き家の利用促進



本町を含む既存の観光パンフレット→本町を中心としたより詳しく魅力あるマップの作成を検討



旧・山脇邸を改修した「カフェ・レストランよがんす」



参考事例:古民家を改修し宿泊施設などとして活用。カマドも再生(島根県大田市)

商店街・コミュニティ活性化の提案

【商店街・コミュニティ活性化の目標】

人とまちが元気で、笑顔あふれる本町をつくろう

【商店街・コミュニティ活性化の方針】

- 活性化の基本となる交流・支え合いのまちと担い手づくりに取り組もう “交流・支え合いのまちと担い手づくり”
- 四季折々の行事、祭などを継承、復活、創出しよう “四季の行事”
- 本町の資源を活かし、誰もが健康で過ごせるまちをつくろう “健康のまちづくり”
- 子どもから高齢者までが安全・安心に暮らせるまちをつくろう “安全・安心のまちづくり”
- 空き家・空き地を活用し、本町の魅力や住みよさを高めよう “空き家・空き地活用”
- にぎわいと出会いが生まれる場となるよう、商店街の活性化に取り組もう “商店街活性化”
- 多彩な資源を活かし・つなぎ、観光・交流の本町をつくろう “観光・交流”

5 町家&空き家・空き地活用プロジェクト(再掲)

☆:「特に重要・必要な取組」として複数のシールがあった個別の内容…第3回WS
★:「優先的、早く(短期的に)取り組むこと」として複数のシールがあった主な取組…第4回WS

■町家活用

＜主な取組＞

- 歴史的建造物(建物など)マップの作成・活用
- 歴史的な建造物の保存・活用
- 空き家の再生・活用(下記)★

■空き家・空き地活用

＜主な取組＞

- 空き家・空き地の把握と対応策の検討★
- 空き家の利用希望者と地元との交流:空き家ツアー(住民も参加)などの開催
- 空き家の改修・除去
- 空き家の利用促進

旧・山脇邸を改修した「カフェ・レストランよがんす」



参考事例:古民家を改修し宿泊施設などとして活用。カマドも再生(島根県大田市)



本町を含む既存の観光パンフレット→本町を中心としたより詳しく魅力あるマップの作成を検討



6 観光・交流と商店街活性化プロジェクト

■観光・交流

＜主な取組＞

- 地域資源・商店街を観光・交流の資源としても活用
- 交流拠点、案内所(協力店に案内ステッカー・バナー)、休憩所の整備★
- 観光マップ・パンフレット(トイレの表示も)の作成、色んな所に配置・配付
- 駅からの案内サイン
- その他サインの整備
- ⇒「2 施設整備・魅力づくりプロジェクト」で検討
- 情報の把握・発信
- お土産づくり(「いろは」の活用など)
- 本町案内人の確保・養成と学習・体験機会の確保(再掲)



交流の場にもなっている「いろは」
・いろはカフェ(年5回)
・作品展(年1回)など

■商店街活性化

＜主な取組＞

- 魅力ある店舗づくり★
- 高校生・学生など若者が訪れる商店街づくり(子ども・若者との交流など)
- 本町通りでの多彩な行事・イベント
- 駐車場の確保



三原城跡(天主台跡)のライトアップ→観光資源として活用



参考事例:街並みを活かした「お通り」。小広場付近では火縄銃の演武なども実施(庄原市)

7 安全・安心と健康のまちづくりプロジェクト

■安全・安心

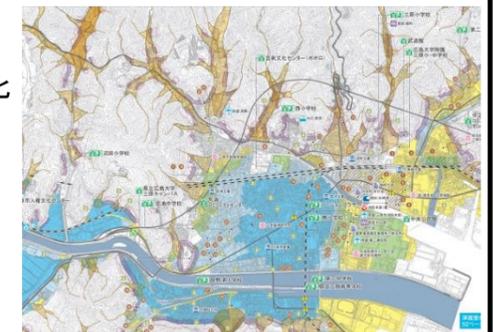
＜主な取組＞

- 防火(防災)対策の充実・強化
- 防災マップの作成☆
- 避難場所と避難路等の確保・整備
- 安全な環境・設備の整備(ブロック塀、屋外空調設備)
- 犯罪のない安全なまちづくり
- 鳥獣被害対策

■健康づくり

＜主な取組＞

- 健康ウォーキングロード(ルート)づくり(「いろは」を起点としたルート等)☆
- 健康づくりイベント等の開催★
- ※「いろは」:百歳体操(週1回), 楽々貯筋クラブ(月1回), サンデーウォーク(年2回)



総合防災ハザードマップ→本町地区の様々な防災・生活情報などを取り入れた「安全・安心マップ」の作成を検討



坂道は健康づくりの資源でも。各所に歴史遺産や自然、眺望点などがあり、それらを体感しながらウォーキング(健康づくり)が楽しめます

■環境美化

＜主な取組＞

- 三原城跡の環境整備と活用(堀の水の浄化、石垣の雑草の除去など)
- 環境美化(ゴミのポイ捨て対策、ペットの管理マナーの啓発)



三原城跡の堀の現状

2 私たちの提案 (4) 全体的な推進体制

プロジェクト(取組)を具体化するためには推進体制が必要

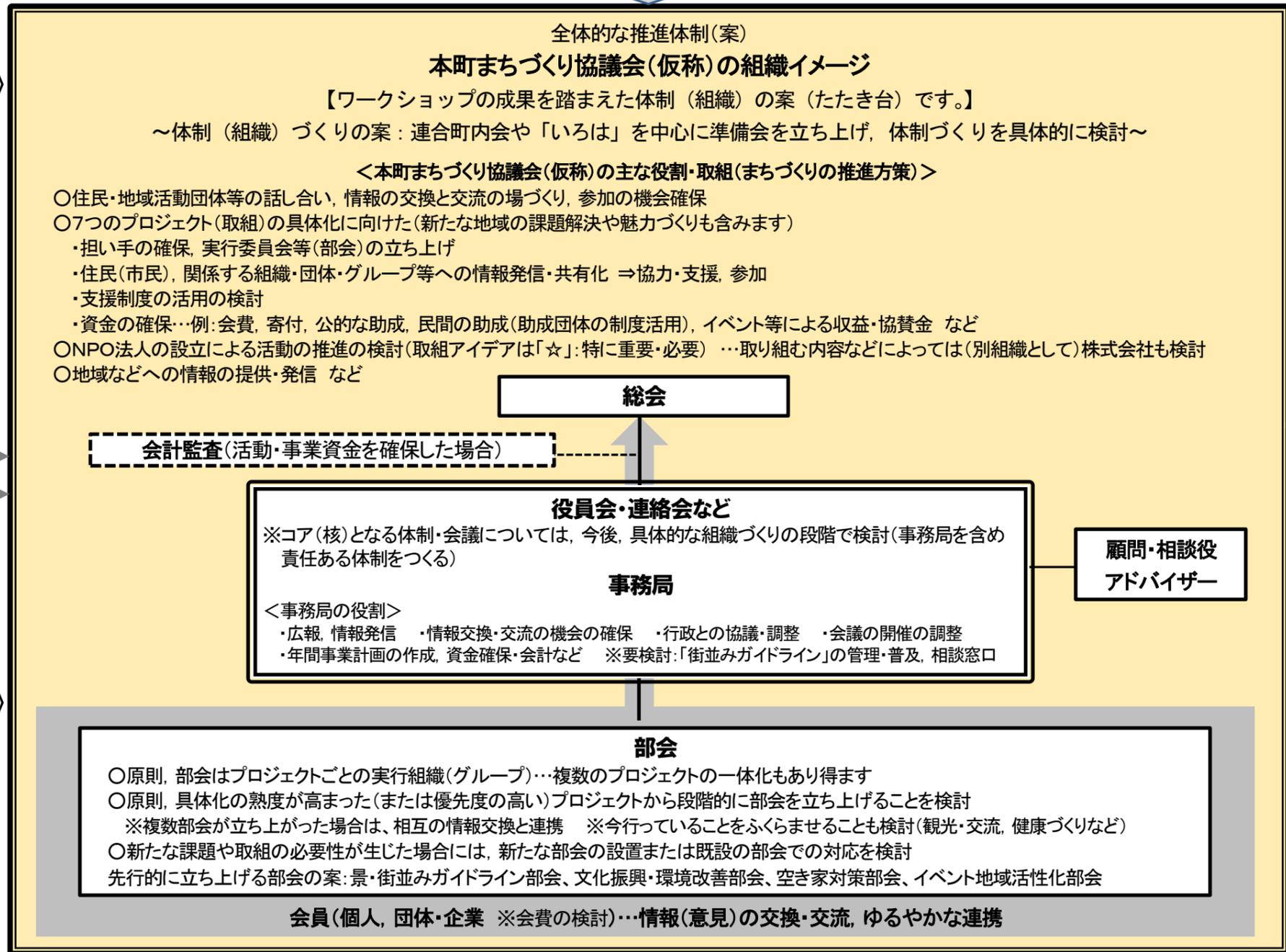
○プロジェクト(取組)の具体化は、本町地区の住民・地域活動団体の協力・支援、参加が基本となります。さらに、組織等の横断的な取組が必要であるとともに、地区の枠を超えた多様な人・組織等の協力・支援、参加も大切です。例えば、景観づくりや空き家再生・店舗づくりの専門家、本町が好きで様々な活動・ボランティアに参加してくれる人々等々
 ○こうした人・組織等が協力・支援、参加しやすく、各主体の力が発揮でき、かつ、その力を合わせて、更なる推進力となるような体制づくりが期待されます。

第4回ワークショップでの意見
「担い手・体制づくり」の取組アイデア
 ○まちづくり推進の担い手・組織づくり
 ・町内会、商店街、いろはなどの連携によるまちづくり組織づくり
 →NPO法人の設立による活動の推進☆
 ・8町内会といろはの連携による本町全体の助け合いの体制づくり(現在、8町内会と連携してサロン「いろは」を運営、一層の連携の強化)
 ・幅広い担い手(住民、老人大学で活躍している高齢者☆、県立大学生等)の確保・参加
 ・多文化共生の推進体制づくり

第4回ワークショップでの意見
「交流・連携」の取組アイデア
 ○交流の場と機会の確保・充実
 ・「いろは」を町内会、商栄会、その他の住民団体が幅広く交流できる場(交流拠点)として充実
 ・「いろは」の開館日の拡充(何時でも交流できる場)
 ・交流機会の拡充(住民相互、世代間交流、祭・行事の企画・運営、勉強会・視察研修など)

行政
 (三原市、広島県、国)

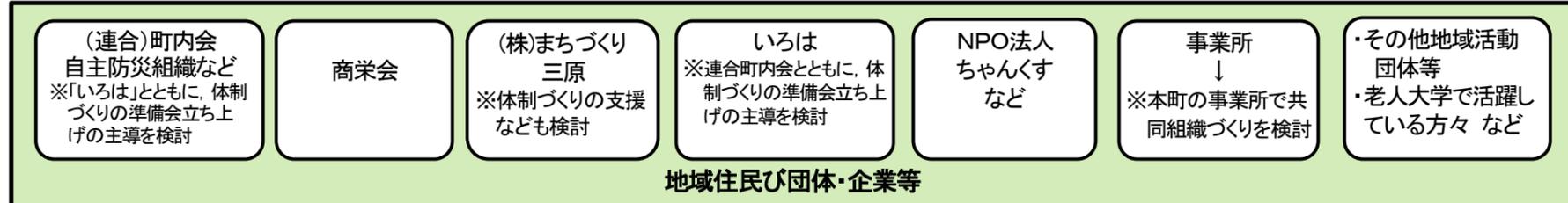
第5回ワークショップでの意見
<地域資源活用(班)>
 ・協議会的な組織が必要
 ・関連する町内会に話をする
 ・本町の住民に周知する
 ・本町の事業所で共同組織をつくる
 ・町内会と事業所の連携が必要
 ・半どん夜市の実行グループを核に考えることも
 ・例:(株)みなとまち
<商店街・コミュニティ活性化(班)>
 ・連絡調整、情報交換・連携:現在、月1回、いろは、町内会で情報共有→(株)まちづくり三原、商栄会などにも入ってもらう
 ・活動拠点:20~30人収容、協議会の事務局の場
 ・体制:担い手育成と確保が必要
 ・組織の立ち上げ段階ではいろはの事務局が協力できる:メンバーに若者・学生を加える。若者との交流はいろはの場所を使う。他団体との交流の強化
 ・新しいことより今行っていることをふくらませる(部会)…観光・交流、健康づくり…いろは:担い手として活動
 ・案内できる知識を持った人の育成



情報提供
 相談等
 ・大学(県立広島大学等)
 ・市域内外の支援者・支援団体等

支援
 ○プロジェクトへの参加
 ・技術・技能、知識の提供(活用)
 ・労力の提供
 ・アドバイザーとしての参加
 ・サポーターとしての参加(労力の提供を含む)
 ○「街並みガイドライン」の管理・普及、相談の支援
 ・建築士会など

第5回ワークショップでの意見
<景観ルールづくり(班)>
 ・府中市の協議会は街なみ環境整備事業のためのもので簡単な組織
 ・事務局の支援(市)
 ・中枢・コアメンバーは責任を明確にした強い連携が必要
 ・住民の立場としては緩やかな連携組織
 ・(株)まちづくり三原の活用→(株)まちづくり三原本町の設立の検討
 ・景観ガイドラインの管理も検討
<施設整備(班)>
 ・利益を出せる組織づくりも必要
 ・連合町内会が軸になれるか?今の組織・事業を整理することが必要)
 ・受け皿の刺激役として(株)まちづくり三原
 ・いろはを大事にして連携(社会福祉系の取組など)



ワークショップメンバー及びアドバイザー・オブザーバー名簿

■ワークショップメンバー

(敬称略)

番号	区分	団体名等	役職	氏名
1	町内会	堀川町町内会	会長	正田 洋一
2	町内会	誠美会	会長	萩 由美子
3	町内会	本町中央通町内会	会長	木村 尚登
4	町内会	本町一丁目町内会	会長	篠原 五郎
5	町内会	本町二丁目町内会	会長	藤田 英彦
6	町内会	本町南部町内会	会長	帯賀 信義
7	町内会	胡町町内会	会長	塩谷 晃巳
8	町内会	川東町内会	会長	渡辺 康博
9	商栄会	本町中央通商栄会	副会長	今村 盛登
10	商栄会	本町一丁目商栄会	会長	和田屋 啓嗣
11	商栄会	本町二丁目商栄会	会長	法代地 英雄
12	商栄会	本町胡町通り商栄会	会長	松本 光生
13	地域活動団体	みはら歴史と観光の会	事務局次長	正田 哲夫
14	地域活動団体	いろは	事務局長	正田 信子
15	地域活動団体	いろは	事務局	遠藤 万里
16	地域活動団体	いろは	事務局	海田 智子
17	地域活動団体	いろは	事務局	伊藤 直子
18	地域活動団体	いろは	事務局	稲田 知子
19	地域活動団体	いろは	事務局	坂井 あけみ
20	地域活動団体	㈱まちづくり三原	職員	末本 尚吾
21	地域活動団体	㈱まちづくり三原	職員	井藤 成美
22	地域活動団体	㈱まちづくり三原	職員	森塚 佳代子
23	イベント主催者	(一社) 三原観光協会	観光コーディネーター	松井 寛
24	イベント主催者	三原商栄会連合会・半どん夜市実行委員会	会長	小林 以徳
25	イベント主催者	三原商栄会連合会・半どん夜市実行委員会	副会長	高松 勉
26	寺社	妙正寺	住職	柴田 章延
27	寺社	香積寺	住職	岡本 浩彰
28	寺社	宗光寺	住職	垣井 龍顕
29	寺社	明眞寺		藤井 信
30	NPO法人	NPO法人ちゃんくす	代表	西上 忠臣
31	公募	堀川町町内会		岡田 博司
32	公募	本町南部町内会		土肥 怜子
33	公募	川東町内会		伊本 正弘
34	市職員			今川 潤
35	市職員			清水 逸司
36	市職員			松本 雅義
37	市職員			山岡 隆明
38	学生	県立広島大学		片岡 政輝
39	学生	県立広島大学		垣村 朋佳
40	学生	県立広島大学		西岡 優子
41	学生	県立広島大学		横島 健人

■アドバイザー・オブザーバー名簿

(敬称略)

氏名	所属等	備考
吉田 倫子	県立広島大学保健福祉学部 講師	アドバイザー
橋本 敬一	三原市文化財協会 会長	アドバイザー
滝口 隆久	㈱まちづくり三原 統括マネージャー	オブザーバー